

風紋

浜岡砂丘

新野かし祭り入賞

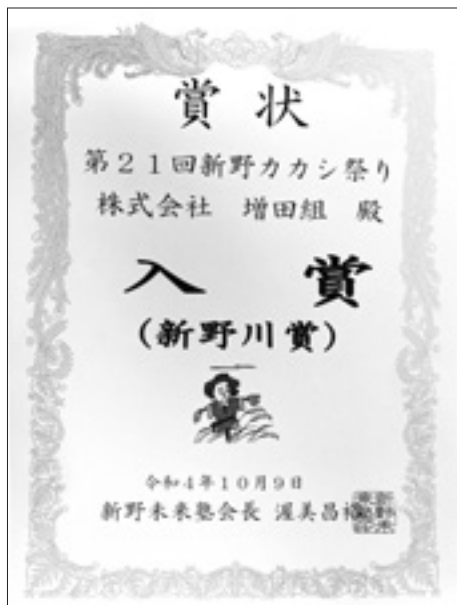


先月号で案山子の製作状況を報告いたしました。作品は無事完成にいたることができました。新型コロナウイルスによる行動制限も全国的に緩和傾向となっており、自治体によつては秋の祭典を実施したところもあると思います。御前崎市でも池新田地区、高松地区では実施されました。『新野かし祭り』も昨年度から再開されました。

今年度は、製作への動き出しが遅かった為、締め切りに間に合うかどうか心配でしたが、職員の皆さんが業務終了後に集まり、一生懸命作業していただいた為なんとか出展することができました。

展示に向かい、周りを見渡すと、他の方の出展も心のこもった力作が勢ぞろいしていました。当社のようにキャラクターを題材にしたものもあれば、日常の風景の一部を題材にしているものなど様々です。周りを見てみると、自分たちが苦戦して仕上りがいまいちなところを上

手に作っている作品もあるため、そういうものを見ると参考になると同時に大変勉強になり、次の作



品で試行してみようという意欲に繋がります。些細なことではありますが、『学ぶ』ということは日常の中で得ることが出来るものだとつくづく実感させられました。

他の皆様の作品を参考に、いつか最優秀賞を受賞できるように今後も頑張りたいと思います。

ホームページアドレス

<https://masudagumi1912.co.jp/>
[カタログパーク](#)
<http://www.hamaoka.or.jp/masuda.html>

五十七期を迎えるにあたり



常務取締役
山下茂俊

当社の新年度第五十七期が、十月一日にスタートしました。今期の基本目標も、完成工事高・受注工事高目標達成です。前期は完工高、受注高ともに達成することができました。今期も一年間全員で一致団結して個人個人の地道な努力、創意工夫や働き方改革を前向きに取り入れ、全員で協力し合い、目標達成に向かって頑張りましょう。

この場で皆さんにお願いしたい事は、全員が経営陣の目線で、たくさんの営業情報の提供と、当社の基本【ムダ・ムリ・ムラ】のMC運動をもう一度振り返って日々の業務に取り入れる事です。この言葉は、当社の二代目社長増田義郎氏が、日々唱えていた言葉です。無駄・無理・斑をなくし、効率のよい作業をしましょうという事です。五十七期も安全第一で顧客に喜ばれる工事を完成させ、目標達成を目指して頑張っていきましょう。



取締役事業部長
藤原茂伸

十月より五十七期がスタートしました。九月後半に通過した台風十五号の県内被害は記憶に新しいところです。台風と『線状降水帯』により予想外の被害が各所で発生しました。少し前には聞くことのなかった現象です。気候の変化による産物にあたると思われませんが、今後はこれに対しての対策も考慮が必要だと思いい知らされました。

さて、五十七期ですが、前期までは『土木・建築』という形でしたが、今期からは『事業部』という形で一括りにまとめ、その中で部門を分けて工事を進めていこうと思えます。少ない人員の中で仲間意識を向上し、自分の現場のみならず課員が困っていれば率先して助けに行く人物の育成に努めていきたいと思えます。四週八休の確保、優良工事表彰の受賞等、目標は多々ありますが、課員一同協力して今期も頑張りたいと思いますのでよろしく願います。



事業部土木担当課長補佐
藤原和之

五十七期より事業部土木担当課長補佐として就任しました。まだ実感が湧きませんが、名刺に刻まれた役職名に今まで以上に社内のみならず外部での対応に責任が問われると思います。事業部方針の達成に向けて尽力する傍ら、今後は課員の指導等大変になると思いますが、頑張ります。



事業部土木担当課長補佐
八木広行

藤原他二名と同じく五十七期より課長補佐として就任しました。経験も浅く、未熟なつもりでしたが、気づけば社内では中堅的な立場となりました。現場は一生懸命こなしてきましたが、役職が付くとそれだけとは言えません。周囲に気を配り、若手社員のフォロー等頑張つて事業部を支えたいと思います。



事業部建築担当課長補佐
落合 智

五十七期を迎えると同時に建築担当課長補佐に就任しました。これまででは、中堅社員の一人として、与えられた現場を一生懸命こなす毎日でしたが、よりいっそう責任がある立場になりましたので、工事現場での役割だけでなく会社の経営についても勉強し、会社全体を盛り上げられるよう努力していきたいと思えます。



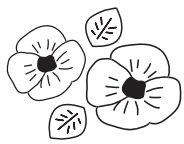
事業部土木担当課長補佐
河原崎 顕

五十七期より課長補佐として就任しました。藤原、八木との三人体制で土木の若手社員の指導、現場でのフォローに専念したいと思えます。自分自身土木の経験は浅いため、両名に聞きながらやることもありますが、現場での経験を活かし、事業部全体を盛り上げていきたいと思えます。

折々の記

…思うままに ⑧

岸本敏和



「過ぎ行く秋」

溶けてしまうような灼熱の夏が終わり、いつの間にか秋冷の季節です。陽は夏のかすかな強さを残して秋色に染まり、いつも手放せなかった扇子は、役目が終わった安心感から引出しに眠り、休んでいたネクタイが顔を出しました。

樹木は、これから来るであろう冬に向かって一足早く仕度を始め、吹き抜ける風は、時にひんやり、時に暖かく体を包んでいきます。路地裏を駆け回っていた子供たちの声も少なくなり、消え行く暖かさを惜しむように猫はブロック塀の上で昼寝をし、空はいわし雲に変わり、今年も確実に秋を迎えました。

春夏秋冬この四季の変化が、生活を支え、日本人を、日本の文化を育ててきました。海外の人たちは、日本人は誰でもが俳句を知り、季節を相手に遊び心を持っていることに驚嘆しています。誰もが一度は五・七・五の言葉を並べた経験を持ち、季節の変化が挨拶の時候になるのは、日本特有のことでしょう。

特に秋は、夏の輝きがサラサラと、名残惜しく消えていく儚さに、人は空ろい易い人生を重ねて時に詩人になります。人生を春夏秋冬に喩えることはよくありますが、人生を100年とすると、60代後半になる私は差し詰め秋麗の頃でしょうか。四季は冬が過ぎれば次には必ず春がきますが、人生は冬で締めくくりになります。ですから、これ

からの人生をどのように締めくくっていくかが重要なこととなります。さて、どう生きていくのか？

そこで、読書の秋です。少し古文を見てみましょう。徒然草で知られる吉田兼好が、その徒然草の中でこのように仰っています。

「蟻の如くに集まりて、東西に急ぎ、南北に走る人、高さあり、賤しきあり。老いたるあり、若きあり。行く所あり、帰る家あり。夕に寝て、朝に起く。いとなむ所何事ぞや。生を貪り、利を求めて、止む時なし。」

「身を養ひて、何事をか待つ。期する処、たゞ老と死とにあり。その来る事速かにして、念々の間に止まらず。これを待つ間、何の楽しみかあらん。惑へる者は、これを恐れず。名利に溺れて、先途の近き事を顧みねばなり。愚かなる人は、またこれを悲しむ。常住ならんことを思ひて、変化の理を知らねばなり。」

650年程の前も今も、人の営みは大して変わってはいないことがよくわかります。後はここから何を読み取り、何を考えていくかです。時には、東西に急ぎ、南北に走る前に立止まって古文に向かうのも一興かなと思います。過ぎ行く秋に。



社内全体会議

十月十二日（水曜日）
に第五十七期の経営計画、経営方針についての全体会議が行われました。



社長からは『第五十七期は中期計画最後の期となり、次の百二十周年に向けてスタートを切る節目の年です。依然、人材の確保と一人一人の成長は急務となります。今期からは業務組織を少し変更し、中堅社員にも経営へ参画してもらい、世代交代に向けた最初の一年とします。』と経営方針の説明がありました。

また、安全部、営業部の目標の説明があり、個人行動目標の発表を各自行いました。その後、係数の編の説明があり、部門ごとに今期の目標を確し合いました。



全国労働衛生週間

スローガン

『あなたの健康があつてこそ
笑顔あふれる健康職場』

全国労働衛生週間は、働く人の健康の確保・増進を図り、快適に働くことができる職場づくりに取り組む週間です。当社でも毎日の行事を定め、血圧測定や環境整備、管理車両点検、安全パトロールなどの各行事が行われました。



おいしい♡レシピ

秋の味覚さつまいも。みなさんはさつまいも好きですか？さつまいもといえばたくさんのおいしい料理があります。今回はさつまいものきんぴらを紹介します。

さつまいものきんぴら



材料

- ・さつまいも 1本
- ・醤油 大匙1
- ・はちみつ 大匙1
- ・みりん 小匙2
- ・ごま油 適量
- ・ごま 適量

作り方

- ①さつまいもは5mm程度の千切りにして軽く水にさらします。
- ②フライパンにごま油を熱し、水気を切った①を中火で炒め、火が通ったら調味料を入れ、表面がカリッとなったらゴマを振り入れ、大きく返しながら炒め火を止める。できあがり。

登校補助

秋の全国交通安全運動の期間中、浜岡北小学校の子どもたちの安全を見守りました。秋になり、日が短くなってきました。歩行者は反射材を使用し、ドライバーは早めのライトオンを心がけましょう。



11月安全努力目標

年度安全目標《後悔を未然に無くす危険予知》

作業安全

- ・第三者に配慮した安全施設の設置
- ・適正な安全帯の使用と転落防止対策の徹底

交通安全

- ・16時よりライトオンの実施

環境目標

- ・ゴミの分別をしてリサイクル化に取り組もう

行事記録

(9/27 ~ 10/26)

- 9/27 御前崎市商工会第二回青年部会
 - 9/28 九州インフラ技術産業Expo・福岡
 - 10/1 全国労働衛生週間
 - 10/2 新野カカシまつり
 - 10/4 全国建設青年会議 第二十七回全国大会 第四回準備会・東京
 - 10/6 特殊車両通行制度に関する意見交換会・三島
 - 10/12 社内全体会議
 - 10/13 御前崎市建設業組合役員会
 - 10/14 御前崎市商工会第三回青年部会
 - 10/17 静岡県建設衛生マツキングシステム(SM)運用開始
 - 10/21 袋井建協災害対策本部要員参集訓練・袋井
 - 10/26 御前崎市立浜岡中学校職業講座
 - 10/29 御前崎ハロウィンパーティー二〇二二
 - 10/30 御前崎マリンパークマラソン
 - 10/31 御前崎市商工会建設部会視察研修・島根
 - 11/5 御前崎市地域医療を育む会第一回勉強会
- ※コロナウイルス感染拡大防止のため、中止または延期になる場合有り



発行 増田組

TEL 0537-861324
FAX 0537-861675
Email info@msd1912.com
URL https://masudagumi1912.co.jp/